

2年生からのステップアップ:小論文講義から模試への取り組み報告

3学年主任: 林 憲子

2年生の3学期に、まずは『書き方の型』を学ぶ講義を行いました。その基礎を学んだ上で、今回の4月模試に挑んでいます。点数も大切ですが、まずは『論理的に書こうとする姿勢』が身についたかどうか注目して報告いたします。

今回の模試は、以下の3つの形式・計7問から1つを選択して執筆する構成です。

1. テーマ型(直球の論述)

特徴: 「〇〇についてあなたの考えを述べなさい」という短い指示のみ。

ポイント: 自分の知識と論理構成力が問われ、最も自由度が高く実力が試される形式。

2. 課題文型(読解+論述)

特徴: 提示された文章(論説文など)を読み、筆者の主張をふまえて持論を展開。

ポイント: 正確な読解力が必要。

「要約」と「自分の意見」を切り分けて書く力が求められる。

3. 複数課題文型(分析+論述)

特徴: 2つ以上の異なる文章やデータを比較・関連付けて考察。

ポイント: 共通点や相違点を見出す多角的な視点が重要。現代入試で増加傾向にある難易度の高い形式。

指導の狙い

2年生3学期の講義で学んだ「論理構成の型」を、自分の志望校や得意分野に合わせて選択し、実践できるかを確認するのが今回の模試の目的です。

小論文模試の結果は、6月上旬にお届けする予定です。

お子様の考え方や関心の方向性が表れる資料ですので、ぜひ結果をきっかけに、将来や進路についてご家庭で話題にしてみてください。

保護者の皆様の関心が、お子様の進路意識を深める大きな支えとなります。

